１．沿　　革

本学科は，国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令（平成１０年文部省令第３６号）により，平成１０年１０月岡山大学医学部に設置された。開設時に，看護学専攻，放射線技術科学専攻及び検査技術科学専攻の３専攻が設置された。３専攻は，平成１１年　４月から学生を受け入れた。

なお，上記の各専攻は，それぞれ岡山大学医療技術短期大学部の看護学科，診療放射線技術学科，衛生技術学科及び専攻科助産学特別専攻を母体としている。

・前身校

１）岡山大学医学部附属看護学校

大正１０年１０月　岡山医学専門学校附属医院内に看護婦養成科を設置
大正１１年　５月　岡山医科大学附属医院への昇格改称と共に同院の産婆看護婦養成科となる（修業年限２年）
昭和１４年　４月　規則改正により修業年限３年
昭和２０年　４月　岡山医科大学附属厚生女学部と改称
昭和２３年　７月　岡山医科大学附属厚生女学部（甲種）を併設
昭和２４年１２月　岡山大学岡山医科大学附属厚生女学部と改称（甲種として指定）
昭和２６年　３月　昭和２３年　７月３０日法律第２０３号により旧制度看護教育廃止
昭和２６年　４月　岡山大学医学部看護学校と改称
昭和３０年　７月　岡山大学医学部附属看護学校と改称
平成 元 年　３月　廃校

２）岡山大学医学部附属診療放射線技師学校

昭和３２年　４月　岡山大学医学部附属診療エックス線技師学校を設置（修業年限２年）
昭和４２年　４月　岡山大学医学部附属診療エックス線技師学校に専攻科設置（修業年限１年）
昭和４４年　４月　岡山大学医学部附属診療放射線技師学校と改称し，専攻科を３年生へ編入により修業年限３年
平成 元 年　３月　廃校

３）岡山大学医学部附属臨床検査技師学校

昭和３９年　４月　岡山大学医学部附属衛生検査技師学校を設置（修業年限２年）
昭和４８年　３月　廃校
昭和４７年　４月　岡山大学医学部附属臨床検査技師学校を設置（修業年限３年）
平成 元 年　３月　廃校

３）岡山大学医学部附属助産婦学校

大正１０年１０月　岡山医学専門学校附属医院内に看護婦養成科を設置
大正１１年　５月　岡山医科大学附属医院への昇格改称と共に同院の産婆看護婦養成科となる（修業年限２年）
昭和２１年　６月　岡山医科大学附属厚生女学部別科産婆科を設置（修業年限１年）
昭和２４年１２月　岡山大学岡山医科大学附属厚生女学部別科助産婦科と改称（修業年限１年）
昭和３０年　７月　岡山大学医学部附属助産婦学校を設置（修業年限１年）
平成　２年　３月　廃校

４）岡山大学医療技術短期大学部

昭和５７年　７月　岡山大学医療技術短期大学部設置準備委員会設置
昭和５９年　７月　岡山大学医療技術短期大学部設置準備室設置
昭和６０年　４月　岡山大学医療技術短期大学部設置準備調査室設置
昭和６１年　４月　岡山大学医療技術短期大学部創設準備室設置
昭和６１年１０月　岡山大学医療技術短期大学部が岡山大学に併設（修業年限３年）
昭和６１年１０月　看護学科（入学定員８０人），診療放射線技術学科（入学定員４０人）及び衛生技術学科（入学定員４０人）の３学科設置
昭和６２年　４月　看護学科を保健婦助産婦看護婦法第２１条第１号に規定する学校として指定
昭和６２年　４月　診療放射線技術学科を診療放射線技師法第２０条第１号に規定する学校として指定
昭和６２年　４月　衛生技術学科を臨床検査技師，衛生検査技師等に関する法律第１５条第１号に規定する学校として指定
平成　２年　４月　専攻科助産学特別専攻（入学定員２０人）設置（修業年限１年）
平成　２年　４月　専攻科助産学特別専攻を保健婦助産婦看護婦法第２０条第１号に規定する学校として指定
平成　２年　５月　専攻科修了者に，受胎調節実地指導員の免許申請資格認可
平成　４年　４月　専攻科助産学特別専攻を学位規則第６条第１項に規定する学位授与機構が定める要件を満たす専攻科として認定
平成１４年　３月　閉校

・岡山大学医学部保健学科

昭和６３年１０月　将来計画検討委員会設置
平成　３年　５月　将来計画検討委員会を大学４年制化構想検討専門部会に改称
平成　４年１０月　医学部保健学科設置検討委員会設置
平成　４年１１月　大学４年制化構想検討専門部会を保健学科構想推進委員会に改称
平成　４年１２月　保健学科構想推進委員会を保健学科構想推進拡大委員会に改称
平成　６年　３月　学部保健学科（仮称）設置に係わるワーキンググループ委員会設置
平成　６年１２月　保健学科構想推進カリキュラム等検討部会設置
平成　８年　５月　保健学科構想推進資料作成部会設置
平成　９年１２月　保健学科構想推進拡大委員会を保健学科設置準備委員会に改称
平成　９年１２月　保健学科構想推進カリキュラム等検討部会を保健学科設置準備カリキュラム等検討委員会に改称
平成　９年１２月　保健学科構想推進資料作成部会を保健学科設置準備開設等検討委員会に改称
平成１０年１０月　保健学科が岡山大学医学部に学科設置
平成１０年１０月　看護学専攻（入学定員８０人），放射線技術科学専攻（入学定員４０人）及び検査技術科学専攻（入学定員４０人）の３専攻設置
平成１０年１０月　初代保健学科長に　遠藤　浩　保健学科教授が就任
平成１１年　４月　保健学科長に　太田　武夫　保健学科教授が就任
平成１１年　４月　看護学専攻を保健婦助産婦看護婦法第１９条第１号，第２０条第１号及び同第２１条第１号に規定する学校として指定
平成１１年　４月　放射線技術科学専攻を診療放射線技師法第２０条第１号に規定する学校として指定
平成１１年　４月　検査技術科学専攻を臨床検査技師，衛生検査技師等に関する法律第１５条第２号に規定する学校として指定
平成１１年　４月　第１期生を受入れ

平成１５年　３月　第１期生１６６名卒業
平成１５年　４月　保健学科長に　川田　智恵子　保健学科教授が就任
平成１７年　４月　保健学科長に　浅利　正二　保健学科教授が就任
平成２１年　４月　保健学科長に　岡本　基　大学院保健学研究科教授が就任
平成２５年　４月　保健学科長に　片岡　幹男　大学院保健学研究科教授が就任
平成２７年　４月　保健学科長に　竹田　芳弘　大学院保健学研究科教授が就任
平成３１年　４月　保健学科長に　中塚　幹也　大学院保健学研究科教授が就任
令和　３年　４月　保健学科長に　廣畑　聡　大学院保健学研究科教授が就任

・岡山大学大学院保健学研究科

平成１５年　４月　大学院保健学研究科（修士課程）を岡山大学に設置
平成１５年　４月　大学院保健学研究科（修士課程）に保健学専攻を設置
平成１５年　４月　保健学専攻に看護学分野（入学定員１４人），放射線技術科学分野（入学定員６人）及び検査技術科学分野（入学定員６人）の３分野設置
平成１５年　４月　大学院保健学研究科長に　川田　智恵子　医学部保健学科教授が就任
平成１５年　４月　第１期生を受入れ
平成１７年　３月　第１期生３１名修了
平成１７年　４月　大学院保健学研究科（博士後期課程）を岡山大学に設置
平成１７年　４月　大学院保健学研究科（博士後期課程）に保健学専攻を設置
平成１７年　４月　大学院保健学研究科（修士課程）を大学院保健学研究科（博士前期課程）に改称
平成１７年　４月　大学院保健学研究科長に　浅利　正二　医学部保健学科教授が就任
平成２１年　４月　大学院保健学研究科長に　岡本　基　大学院保健学研究科教授が就任
平成２５年　４月　大学院保健学研究科長に　片岡　幹男　大学院保健学研究科教授が就任
平成２７年　４月　大学院保健学研究科長に　竹田　芳弘　大学院保健学研究科教授が就任
平成３１年　４月　大学院保健学研究科長に　中塚　幹也　大学院保健学研究科教授が就任
令和　３年　４月　大学院保健学研究科長に　廣畑　聡　大学院保健学研究科教授が就任
令和　４年　４月　大学院保健学研究科（博士前期課程・博士後期課程）に学位プログラムを設置

３２．付　　録

（１）学術研究院保健学域教員名簿

医 学 部 長　和田　淳

保健学科長・保健学研究科長　廣畑　　聡

看護学専攻（分野）

職　名	氏　　名
教　授	相原　洋子
教　授	大植　崇
教　授	小野　智美
教　授	加澤　佳奈
教　授	中塚　幹也
教　授	原田　奈穂子 ＊
教　授	森　恵子
教　授	森本　美智子

職　名	氏　　名
教　授	渡邉　豊彦 ＊
准教授	岡本　亜紀
准教授	髙畑　陽子
准教授	近田　藍
講　師	池田　智子
助　教	新井　友子
助　教	梶原　右揮
助　教	北別府　孝輔

職　名	氏　　名
助　教	末田　朋美
助　教	角田 八千代
助　教	弘中　藍子
助　教	細井　舞子
助　教	水田　明日香
助　教	安川　純代
助　教	山口　そのえ
助　教	山下　琴美

放射線技術科学専攻（分野）

職　名	氏　　名
教　授	生口　俊浩
教　授	田辺　悦章
教　授	中村　隆夫
准教授	笈田　将皇 ＊

職　名	氏　　名
准教授	片岡　隆浩
准教授	木田　勝博
准教授	後藤　佐知子
准教授	花元　克巳

職　名	氏　　名
助　教	淺原　孝
助　教	福井　亮平
助　教	松浦　龍太郎

検査技術科学専攻（分野）

職　名	氏　　名
教　授	佐藤　康晴
教　授	廣畑　聡
教　授	宮原　信明
教　授	森田　瑞樹 ＊
教　授	横田　憲治

職　名	氏　　名
教　授	渡邊　彰吾
准教授	石川　哲也
准教授	勝山　惠理
准教授	後藤　和義
講　師	西村　碧フィリーズ

職　名	氏　　名
助　教	佐藤　生弥
助　教	錦織　亜沙美
助　教	山元　修成

＊印の教員は、学術研究院ヘルスシステム統合科学学域に所属する医学部保健学科の兼担教員

職名，50 音順